

注意の切り替えを測る

加藤 公子 (2018)

高齢者の注意制御機能測定検査作成の試み
愛知淑徳大学論集心理学部篇, 8, 1-11.

- 日常生活の中で、私たちはその時に起こった出来事に対し注意を向け、適切な行動をとる。
- 複数の出来事が継時的に起こると、その都度、注意を切り替えながら生活している。

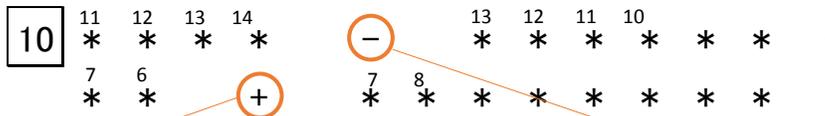
例) 新聞を読んでいたら、玄関でインターホンが鳴った。玄関で回覧板を受け取って、再び新聞を読み始めた。



- 注意の切り替えの速さ、正確さを、簡便に測定する検査を作成したい。

左上に書かれている数字から始めて、「*」の数を数える。

- ・ スタート直後は1つつ足す。
- ・ 途中で **-** があれば、星の数を1つつ減らして数える。
- ・ 途中で **+** があれば、星の数を1つつ足して数える。



注意の切り替え
ここから数を足して数える

注意の切り替え
ここから数を減らして数える

結果とまとめ

その他の注意の働き（選択的注意：複数の情報の中から必要な情報を抜き取る）を測定する他の検査と、当該検査を併せて検討した。

その結果、注意の切り替えを測定する本検査は、他の注意の働きが保たれていると、より精度が高いことが示された。

注意の働きは、個別の検査のみで判断するのではなく、複数の検査から総合的に検討する必要がある。